

KENWOOD

カセットデッキ

X-H9/(G)

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



B60-3459-00 (JA) (J) (AP)
98/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 97/12 11 10 9 8 7



本機の特徴

音質と安定性を追求した先進技術の搭載

- 前面パネルにはアルミ押し出し材を使用し、厚さ1.6mmの高剛性シャーシを使用することにより、強度を増して音質向上を図っています。
- 音質向上の為、特に重要な電源回路部を強化しています。
- 小さな部品ひとつひとつに音質向上への配慮をした設計をしています。

再生時に便利なDPSS機能搭載

- 曲を飛び越して聴く
- 同じ曲を何回も聴く
- テープを巻戻して始めから聴く
- 曲と曲の間を早送りして聴く

イージーオペレーション機能 & CCRS機能搭載

本機をオプションとして指定している当社オーディオシステム（別売）*とシステム接続されているとき、簡単にCDの高音質録音ができる"CCRS録音"が可能です。

*X-H9対応の別売オーディオシステム名をお知りになりたい場合は、最寄りの営業所、もしくはサービス・センターまでお問い合わせください。

目次

⚠ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

はじめに 2

本機の特徴 2

⚠ 安全上のご注意 3

知っておきましょう 7

接続のしかた 8

各部のなまえと働き 9

テープを聴く 10

 再生（録音）の準備をする 10

 テープを聴く 11

便利な選曲をする（DPSS） 12

 飛び越し選曲 12

 ダッシュ&プレイ 13

 1曲リピート再生 13

 巻き戻し再生 13

録音してみましょう 14

 録音する 14

故障と思われる症状ですが・・・ 16

⚠ 定格 18

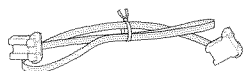
保証とアフターサービス 19

付属品

次の付属品が揃っていることを確認してください。

オーディオコード（2本）

システムコントロールコード（1本）



製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様、または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の故障、誤動作または不具合による、テープやディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》



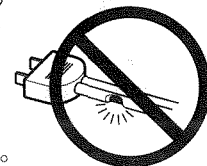
電源コードの取扱い

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。



使用禁止

電源コードが傷ついたら
(芯線の露出や断線など)
使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



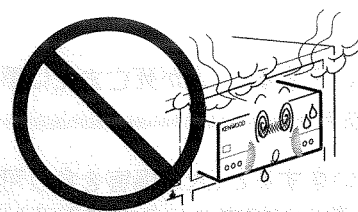
●修理をご依頼ください。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。



●風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
●横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
●布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》

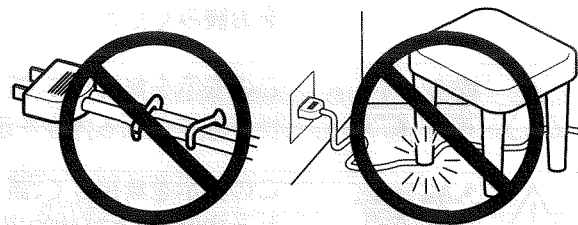


電源コードの配線に注意

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。



●電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
●敷物の下に電源コードを隠さない。
●電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
●足を引っ掛ける恐れがある配線をしなない。
《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



風呂場では使用しない

風呂場など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



異常かな？と思ったら

煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

●直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

●安全を確かめてから、修理をご依頼ください。

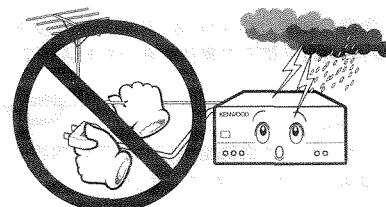


電源プラグ
をコンセント
から抜け



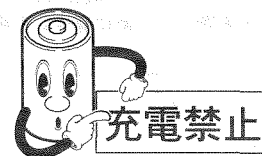
雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》



乾電池は充電しない

《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》

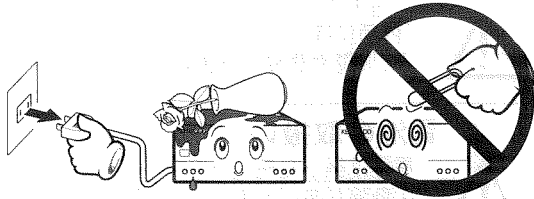


機器の内部に異物や水を入れない

内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

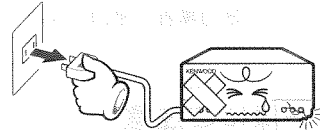


落下した機器は使わない

落としたり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。

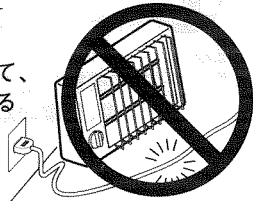


注意

電源コードは熱器具の近くを避けて

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。

《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。

《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》

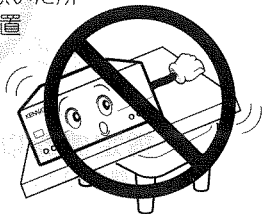
- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。



不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

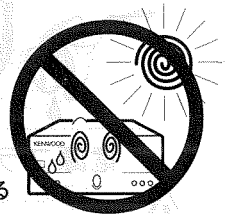
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》



湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

《火災や感電の原因になることがあります》



長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》



電源プラグをコンセントから抜け

音量に気をつけて



はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。

《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

お手入れの際は



電源プラグをコンセントから抜け

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したままでの作業は、感電の原因になることがあります》

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。

《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》



お子様にご注意

お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。

《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》

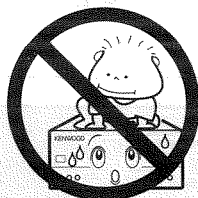


指をはさまれないよう注意

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。

《けがの原因になることがあります》

電池はお子様の手が届かないところに置いてください。
《電池を飲み込むおそれがあります》



電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-")の向きに注意し、表示通りに入れてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



電源プラグの抜き差しは

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

《感電の原因になることがあります》

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。

《コードの部分を引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》

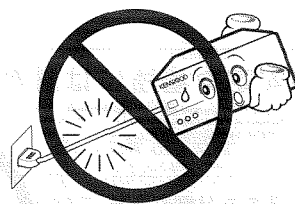


電源プラグをコンセントから抜け

機器を移動させる際は

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。

《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》

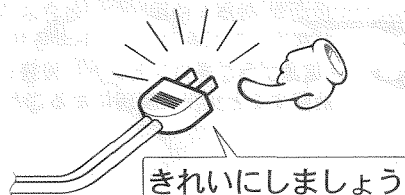


電源プラグは清潔に



1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。

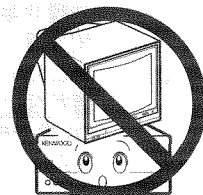
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》



指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物体を乗せないでください。

《乗せた物体の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物体の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》



メンテナンス

ヘッドのお手入れ

ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。

クリーニングには、市販のクリーニングテープを用いて行ってください。詳しくは、クリーニングテープの取扱説明書をお読みください。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販のカセットテープ型消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。



ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからふします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを"露付き"といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。

本機の電源を入れた状態で、そのまま放置してください。長くても数時間で露が乾いてきます。

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

著作権法上のご注意

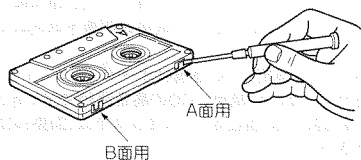
あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

テープの取り扱いかた

カセットテープについてのご注意

誤消去防止装置

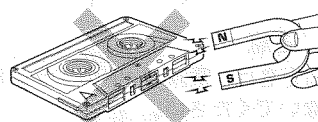
大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。



再び録音するには ツメを折った所だけにテープをはる。

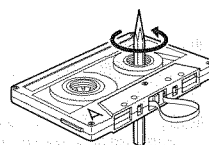
カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



1.110分以上のテープについて

110分以上のテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

2.エンドレステープについて

エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

接続のしかた

X-H9 (J)

図のように接続してください。

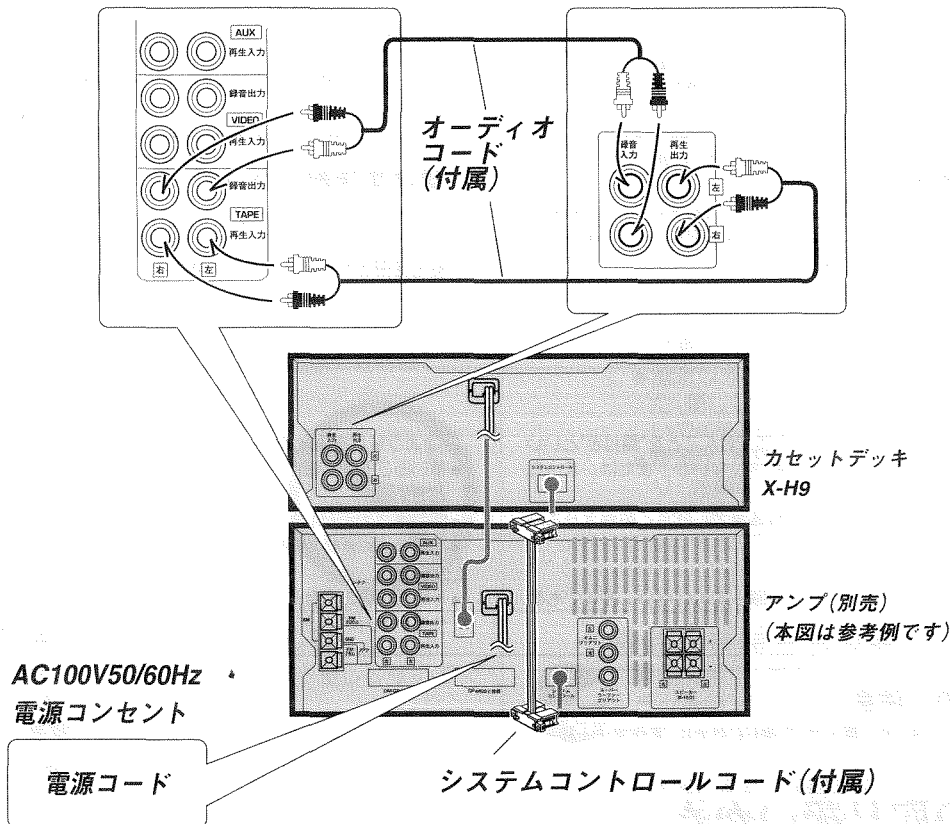
関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが…」を参照してマイコンをリセットしてください。



→ 16



⚠ 注意



接続のご注意

接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
機器の接続は、図のように行ってください。



- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。
- セットの積み重ねは、接続図通りに行ってください。
- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- セットの前面は揃えてください。

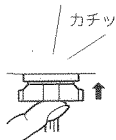
システム動作について

- イージーオペレーション**
本機をオプションとして指定している当社オーディオシステム(別売)とシステム接続されているとき、イージーオペレーションが可能です。詳しくは、当社オーディオシステム(別売)の取扱説明書をお読みください。
- CCRS録音**
本機をオプションとして指定している当社オーディオシステム(別売)とシステム接続されているとき、簡単にCDの高音質録音ができる"CCRS録音"が可能です。詳しくは、当社オーディオシステム(別売)の取扱説明書をお読みください。

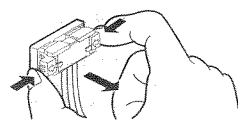
システムコントロールコードの接続

コネクタを差し込む

コネクタを抜く



カチッと音がするまで平行に差し込みロックする

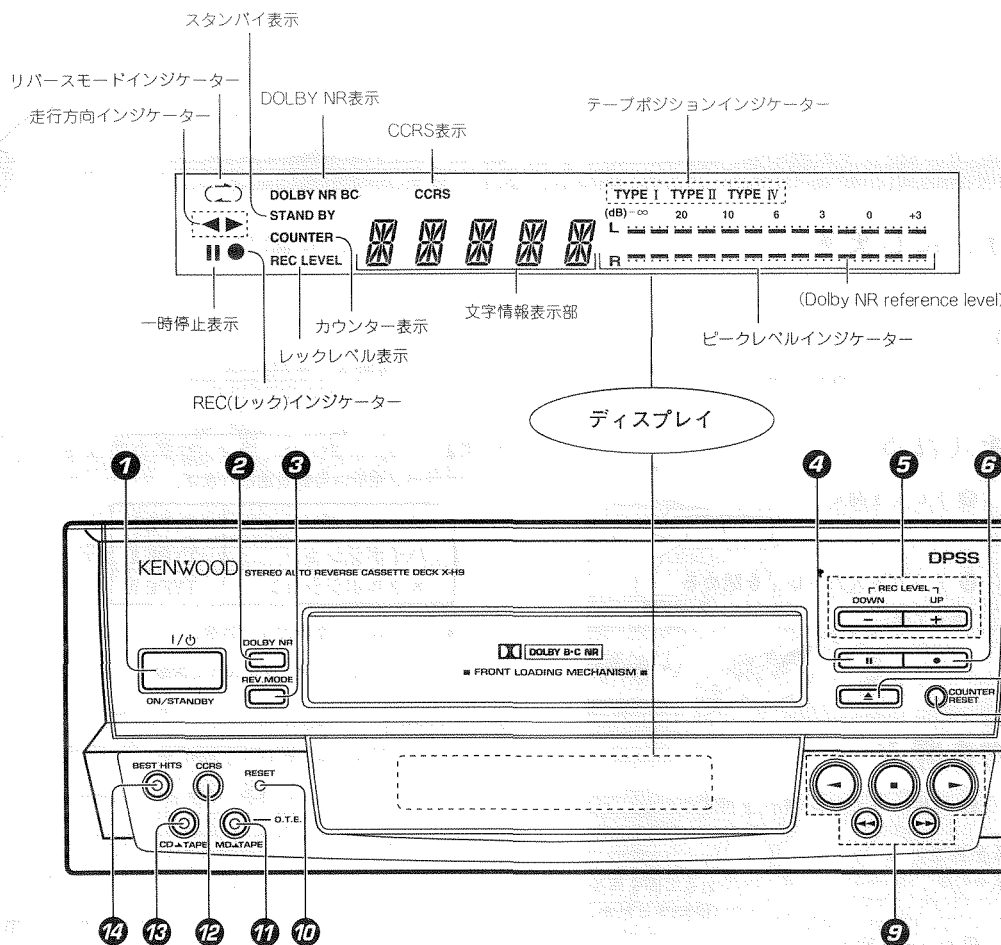


コネクタ部分の両端を押しながらまっすぐに引き抜く

各部のなまえと働き

本機をオプションとして指定している当社オーディオシステム(別売)とシステム接続することで、O.T.E.、CCRS、BEST HITS機能を使った録音ができます。

詳しくは、当社オーディオシステム(別売)の取扱説明書をよくお読みください。

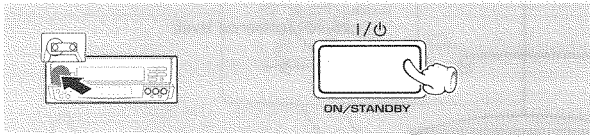


- ① **ON/STANDBY (I / O) キー** → 10
電源のオン/オフを切り換えます。
- ② **DOLBY NR キー** → 10
ドルビーノイズリダクションのタイプ、またはオン/オフを選びます。
- ③ **REV. MODE キー** → 10
デッキのリバースモード(両面、繰り返し、片面)切換えます。
- ④ **一時停止 (II) キー** → 11
- ⑤ **REC LEVEL キー** → 14
録音レベルを調節するときに使います。
- ⑥ **録音 (●) キー** → 14
録音するときに使います。
- ⑦ **イジェクト (▲) キー** → 10
テープを出し入れするときに使います。
- ⑧ **COUNTER RESET キー** → 12
カウンター表示を"0000"にします。

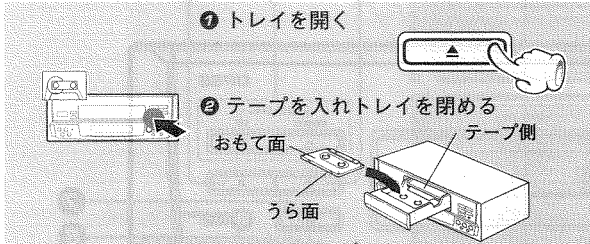
- ⑨ **操作部** → 10 → 11
◀, ▶ : 再生キー
■ : 停止キー
◀◀, ▶▶ : 巻き戻し、早送りキー
- ⑩ **RESET スイッチ** → 16
マイコンが誤動作したときに使います。
- ⑪ **O.T.E. (MD → TAPE) キー/インジケータ**
MDレコーダーの停止中に押し、そのときセットされているMDの全曲を、順にテープへ録音します。再生中に押し、その曲だけ最初から録音します。
- ⑫ **CCRS キー**
CDを録音するとき、そのとき選ばれているディスクの内容を、テープへ全自動録音します。
- ⑬ **O.T.E. (CD → TAPE) キー/インジケータ**
CDのディスクの全曲を、順にテープへ録音します。再生中に押し、その曲だけ最初から録音します。
- ⑭ **BEST HITS キー/インジケータ**
収納されている全てのCDの1曲目を、順にテープへ録音します。

テープの再生 (録音) の準備をする

1 電源をオンにします



2 テープを入れる

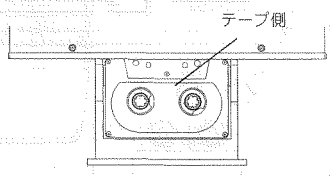


●ノーマルポジション、ハイポジション、メタルポジションのテープ選択は自動設定されます。

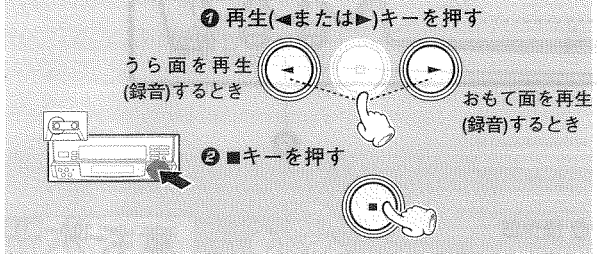
ノーマルポジション	TYPE I
ハイポジション	TYPE II
メタルポジション	TYPE IV

●テープは、たるみのない状態にして入れてください。

トレイにカセットテープが入った状態

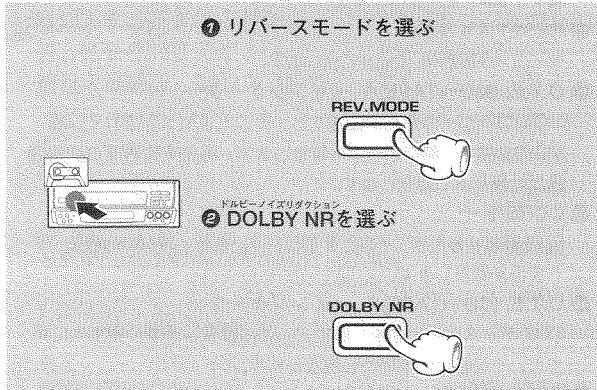


3 走行方向を選ぶ



●本機をオプションとして指定している当社オーディオシステム (別売) 付属のリモコンを使う場合は、当社オーディオシステム (別売) の取扱説明書をよくお読みください。

4 再生 (録音) 条件を決める



押すたびに切り換わります。

- ① "◀▶" 両面を再生 (録音) して止まる (◀キーを押した場合、うら面のみ再生されます)
- ② "◀▶" ... 両面をエンドレス再生する (両面を録音して止まる)
- ③ "▶" 片面のみを再生 (録音) して止まる

押すたびに切り換わります。

- ① DOLBY NR "B" 点灯....一般的なタイプ
- ② DOLBY NR "C" 点灯....より高性能なタイプ
- ③ DOLBY NR 解除....ドルビー-NRを使わない

●DOLBY NRは、テープの録音状態に合わせて選んでください。

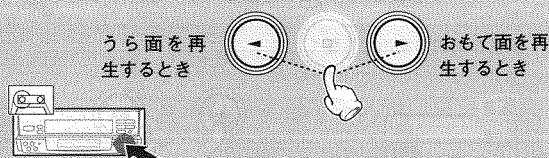


テープを聴く

1 テープの再生の準備をする - 10

2 再生する

再生(◀または▶)キーを押す



●テープは走行方向インジケータと同じ向きの面を再生します。

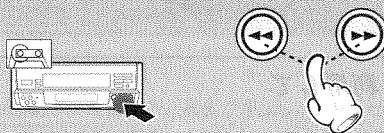
再生を止める



●テープが完全に停止するまでイジェクト(▲)キーを押さないでください。

早送り・早戻しする

◀方向に早送りする ▶方向に早送りする



停止中に押す

●早送りを止めるときは、停止(■)キーを押してください。

一時停止する



ドルビーノイズリダクション DOLBY NRを選ぶ

ドルビーNRシステムは、テープを聴くときの"サー"というヒスノイズをできるだけ聞こえにくくするためのシステムです。Bタイプと、Cタイプがありますが、録音するときと、再生するときと同じタイプを選ばないと効果がありません。テープには、"B","C"の区別を書き込んでおきましょう。

ドルビーB NR: 一般的なドルビーNR方式です。

ドルビーC NR: Bタイプよりもノイズ低減効果が優れています。

本機だけで録音再生するときには、ドルビーC NRの利用をおすすめします。

走行方向表示について

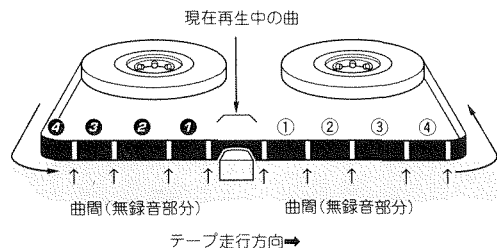
イーザーオペレーションなどで、再生や録音が自動スタートするときの、テープが進む方向を、走行方向インジケータ(◀▶)の点灯で示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。

向きを変えるときは、いったん逆向きの再生(◀または▶)キーを押してから停止(■)キーを押します。

ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラポラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号は、ドルビーラポラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。

DPSS(ダイレクト・プログラム・サーチ・システム)について

4秒以上の無音部分を"曲間"として探し出す機能で、4種類の使いかたがあります。



- 飛び越し選曲:** 途中の曲を飛び越して、目的の曲の最初から再生します。最大16曲まで飛び越せます。
- ダッシュ&プレイ:** 10秒以上の無音部分を早送りで飛び越しながら、繰り返し再生します。
- 3.1曲リピート再生:** 同じ曲を16回繰り返して再生します。
- 4.巻戻し再生:** テープを巻き戻して、最初から再生します。

飛び越し選曲

DPSS(ダイレクト・プログラム・サーチ・システム)で、4秒以上の無録音部分を「曲間」として探し出して、曲の頭出しをしたり、途中の曲を飛び越して、目的の曲の最初から再生することができます。最大16曲まで飛び越せます。

下の図は走行方向が▶のときの例です。走行方向表示の向きが◀のときは、いずれの場合も図とは反対方向のキーを押します。

1曲先の曲を聴くとき



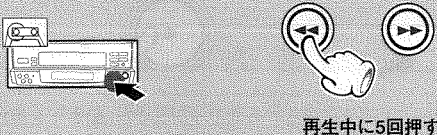
再生中の曲を初めから聴くとき



4曲先の曲を聴くとき

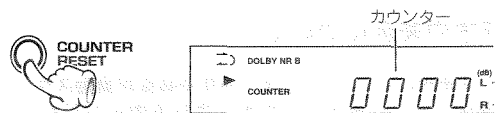


4曲前に戻して聴くとき



カウンターを利用して

録音(再生)を始める前にCOUNTER RESETキーを押してカウンターを0000にしておきます。テープの途中で録音(再生)を終わりにしたいときなど、その数字をメモしておくと、次の録音(再生)のときに、続きの場所を探すめやすくなります。裏面を聴いているとき(走行方向表示が◀のとき)はカウンターの数字は減っていきます。



ゼロストップのしかた(本体のみ)

▶方向に早送りする

二つのキーを同時に押す



◀方向に早送りする

二つのキーを同時に押す



●カウンターの"0000"付近まで早送りして止まります。



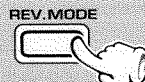
次のようなテープでは、DPSS機能が正しく働かないことがあります。

- 会話、落語などで音声で4秒くらい途切れるテープ
- クラシック音楽など、1曲の中に、音量が極端に小さくなる場所のあるテープ
- 曲間に、大きな雑音などが録音されているテープ
- 曲間が4秒未満のテープ
- 小さな音で録音されたテープ
- クロスフェード録音(前曲の最後に、次曲の最初が重なっていること)されたテープ

ダッシュ&プレイ

再生中に10秒以上の無音があると、その部分を自動的に早送りし、音声のある部分だけを再生します。

1 再生モードを選ぶ

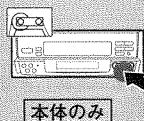


押すたびに切り換わります。

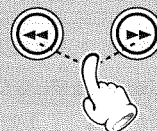
- ① 両面を1回だけ再生して止まる
- ② 両面を8回繰り返し再生して止まる
- ③ 片面のみを8回繰り返し再生して止まる

●テープは走行方向インジケータと同じ向きの面を再生します。

2 ダッシュ&プレイを始める



本体のみ



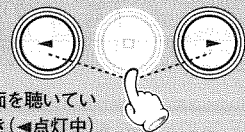
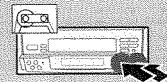
同時に押す

●停止(■)キーを押すと再生が停止し、ダッシュ&プレイは取り消されます。

1 曲リピート再生

再生中に押す

おもて面を聴いているとき(▶点灯中)



うら面を聴いているとき(◀点灯中)

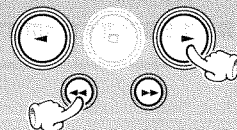
●そのとき聴いている曲を16回繰り返し再生し、通常再生になります。

●停止(■)キーを押すと、再生が停止し、1曲リピートは取り消されます。

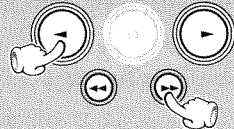
巻戻し再生

二つのキーを同時に押す

おもて面を聴いているとき(▶点灯中)



うら面を聴いているとき(◀点灯中)



本体のみ

●そのとき聴いている面の最初まで巻き戻してから、再生が始まります。

録音をする

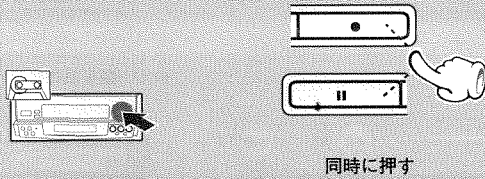
1 テープの録音の準備をする

2 録音する音楽ソースを選ぶ

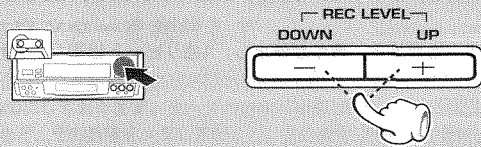
●接続されたアンプまたはオーディオシステムの入力切換キーで選びます。

3 録音レベルを調整する

- ① 音楽ソースを再生(受信)する
- ② 録音待機状態にする

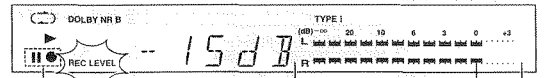


- ③ 録音レベルを調節する



- ④ 音楽ソースを停止する

●一時停止 (II) キーを押しながら、録音 (●) キーを押します。



レック、ポーズ表示

ピークレベルインジケータ

●ピークレベルインジケータの、0dB付近がときどき点灯するように録音レベルを調節します。

4 録音をスタートさせる

- ① 録音を始める



- ② 録音する音楽ソースを再生(受信)する

●録音する面(片面または両面)が終了すると、自動的に終了します。



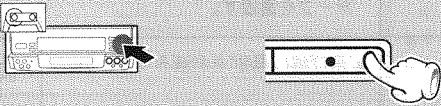
録音をやり直す

曲の途中で録音をとり直すときに便利です。
録音開始位置の前に約4秒間の無録音部分が必要です。

① 録音中にキーを押す



② 録音 (●) キーを2回押す



③ 録音 (●) キーを1回押す



④ 録音したい曲を再生(受信)する

- 録音は中止され、録音中の曲の最初まで戻り、前の曲から約2秒間の無録音部分を送った後、録音停止状態になります。

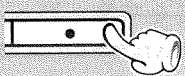
- 録音済みの曲が手前でない場合は、テープを巻き取って止まります。

- 約4秒の無音部分を作って録音待機状態になります。
- テープの最初から録音し直す場合は、リーダーテープ(テープ巻き始めの録音できない部分)を送ってから録音を始めてください。

- 録音が始まります。

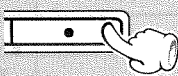
曲間に無録音部分をつくる

停止中



2回続けて押す

録音中



1回押す

- 約4秒間の無録音部分をつくり、録音一時停止状態になります。

録音を停止する



録音を一時停止する(ポーズ)

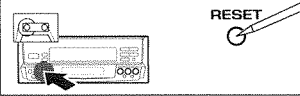


マイコンをリセットするには

電源がオンのとき接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因によりマイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、右記をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

先のとがった物を使ってリセットする



症状	原因	処置	参照
再生 (◀または▶) キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ヘッドが汚れている。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●未録音テープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 ●"ヘッドのお手入れ"をみて、ヘッドを清掃する。 ●テープを交換してみる。 ●録音済みテープを使う。 	<ul style="list-style-type: none"> → 8 → 7
操作キーを押しても作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●トレイが完全に閉まっていない。 ●トレイを開けて、すぐ操作キーを押している。 ●電源を入れてから、4秒以内に操作キーを押している。 ●テープが入っていない。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●トレイを完全に閉める。 ●トレイを開けてから何秒か待って操作キーを押す。 ●4秒以上たってから操作キーを押す。 ●テープを入れる。 ●テープを交換してみる。 ●デッキの走行方向を変える、またはテープを裏返す。 	→ 10
DPSSが誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> ●曲と曲の間が短いなどDPSSに不適当なテープを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"飛び越し選曲"をお読みください。 	→ 12
OPE、CCRS、BEST HIT が作動しない。オーディオシステム (別売) 付属の取扱説明書と併せてご覧ください。	<ul style="list-style-type: none"> ●デッキに録音できるテープが入っていない。 ●CDプレーヤーまたはMDレコーダーにディスクが入っていない。 ●ディスクが汚れている。 ●システムコントロールコードが接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●デッキに録音できるテープを入れ、操作をやり直す。 ●CDプレーヤーまたはMDレコーダーにディスクを入れ、操作をやり直す。 ●ディスクを清掃した後、CDプレーヤーに入れ、操作をやり直す ●システムコントロールコードを接続する。 	
イジェクト (▲) キーを押してもトレイが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音中、または再生中に押している。 ●外部からの雑音によりマイコンが誤動作した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●停止状態で押す。 ●"マイコンをリセットするには"をお読みください。 	→ 16
音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが汚れている。 ●テープがのびたり、ワカメ状になってる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみて、ヘッドを清掃する。 ●テープを交換する。 	→ 7
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたテープを再生している。 ●イコライザーやSRS 3Dレベルの効果をかけて録音されたテープに、更にイコライザーをかけて再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"録音する"をお読みください。 ●テープを交換する。 ●イコライザーやSRS 3Dレベルの効果をおOFFにする。オーディオシステム (別売) 付属の取扱説明書と併せてご覧ください。 	→ 14

症状	原因	処置	参照
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが磁気を帯びている。 ●外部の雑音を誘導している。 ●DOLBY NRをオンで録音したテープをオフで再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみて、消磁する。 ●電気器具、テレビなどから離す。 ●DOLBY NRをオンにする。 	<ul style="list-style-type: none"> → 7 → 10
音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> ●キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。 ●テープに巻き取りムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ヘッドのお手入れ"をみて、ヘッドを清掃する。 ●テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。 	<ul style="list-style-type: none"> → 7 → 11
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●テープのツメが折れている。 ●トレイが完全に閉まっていない。 ●接続されたアンプまたはオーディオシステムの入力切り換えキーが、TAPEになっている。 ●テープがどちらかに巻き取られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 ●トレイを完全に閉める。 ●入力切替キーを録音したいソースにする。 ●デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。 	<ul style="list-style-type: none"> → 7 → 10 → 10



1. テープの種類によっては、自動的にテープが止まったときに"キュー"という音がすることがあります。これはテープ保護機構が働くため、故障ではありません。
2. 110分以上のテープは、テープ厚が薄くてわかめ状になりやすいため、ご使用にならないください。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容	テープカウンター
電源プラグをコンセントから抜いて最低1日で消えるメモリーの内容	録音レベル 走行方向 ドルビーNR リバースモード

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開けたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
録音方式	交流バイアス(周波数:105kHz)
ヘッド	
録音/再生用	1
消去用	1
モーター	1
ワウ・フラッター	±0.10%(W.RMS)
早巻き時間	約110秒(C-60)
周波数特性(EIAJ)	
タイプⅠ(ノーマル)	50Hz~19,000Hz, ±3dB
タイプⅡ(ハイ)	50Hz~19,000Hz, ±3dB
タイプⅣ(メタル)	50Hz~20,000Hz, ±3dB
SN比	
DOLBY NR OFF	57dB(250nWb/m, メタル)
DOLBY NR OFF	58dB
DOLBY B NR ON	67dB
DOLBY C NR ON	74dB

[電源・その他]

電源電圧、電源周波数	AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	15W

最大外形寸法	幅	270mm
	高さ	104mm
	奥行	320mm
重量(正味)		3.1kg



1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い(摂氏0度以下の)場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項（お買い上げ日、販売店名など）が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間内の場合は、...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。

- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をオフにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。

(別紙“全国サービス網”をご参照ください。)

持込修理と出張修理

「持込修理」、「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。

- 修理のために、セットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーは除きます)
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。
(お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。)

保証期間が過ぎている場合は、...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。

- ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切後8年です。
- この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ(有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

- 技術料:故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代:修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料:製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(SERIAL No.)
- お買い上げ年月日
- お買い上げの販売店名
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- お客様の連絡先(お名前、住所、電話番号)

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話（03）3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9
（大阪）電話（06）357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町 1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。